

畑への使用方法

使用タイミング

はしゅ
播種後や定植後すぐ

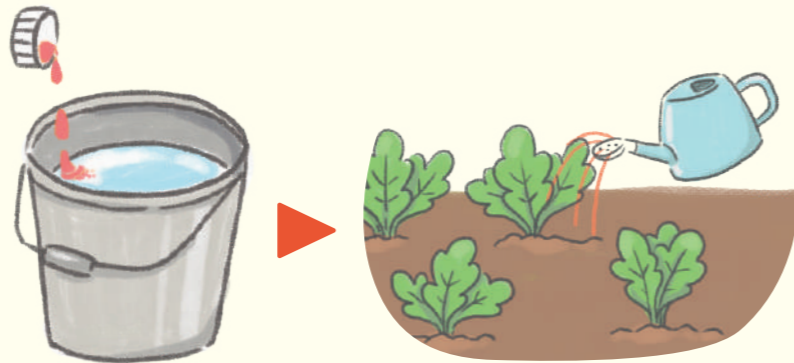
1週間から10日に一度、培養した光合成細菌を必ず
1,000倍ほどに水道水で薄めて、作物に
葉面散布または株周りに適量を散布してください。
かんすい
灌水する場合は、1回に**1ℓ/10a**を使用してください。

1,000倍希釈の目安

- 1 10ℓのバケツ、水8分目に対し、ペットボトルのキャップ1杯の光合成細菌を入れます。
- 2 よくかき混ぜてから、作物に与えてください。

ペットボトル
キャップ1杯

10リットル
バケツ



増殖して十分赤くなった光合成細菌培養液の中には、1ccあたり、およそ10~20億個の光合成細菌がいます。
光合成細菌は、非常に低濃度で効果があります。
作物によっては濃く与えすぎると障害が出ることもあります。

活用事例・効果



メロン・レタス・ナス・キュウリ・白菜・キャベツ・サツマイモ

- 収量増加
- 品質向上(糖度・色など)

トマト



- 果実収量向上
- 糖度向上
- ビタミンB1
- ビタミンC含有量増加

富有柿



- 収量増加
- 品質向上(糖度・色・つや)

ミカン



- 収量増加
- カロテノイド含有量増加
- 苗木の根張り向上

その他にも
様々な農作物で
試験しています!

芝生へのくまレッドの使用方法

500~1,000倍希釈(1~5cc/m²) 水1,000ℓに1~5ℓを加え、
1,000m²に散布します。光合成細菌の菌数:1億個/1cc



殺菌剤や殺虫剤との併用は避けてください。